

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2000年

1

月号

平成11年12月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

【NPO室から】

今回成立した4団体を含め、NPO法人は20団体になりました。

今回、特定非営利活動法人(NPO法人)として成立した4団体と申請中の4団体を紹介します。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

三重県市民活動センター運営委員会からのお知らせ。

お知らせは2点あります。一つは三重県市民活動センターの移転にともない、新たに整備する必要のあるものなど、みなさんからの意見を募集しています。もう一つは運営委員会のお知らせです。次回は1月13日(木)。気軽に参加してください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

1~2月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

NPOと行政が知り合う場を提供しようという「NPO&行政プロポーズ大作戦」という企画がスタートしました。そのスタッフを募集しています。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は2件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

次期(社)日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会会長 **濱田典保**さん

はまだのりやす

他の市民活動グループとも積極的にネットワークをつくらうとしているのが来年の(社)日本青年会議所の三重ブロック協議会会長である濱田典保さん。きびきびした語り口とにこやかな笑顔が印象的な濱田さんが考える青年会議所の今後についてインタビューしました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）成立、申請共に4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

【33】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人三重県フリーマーケット協会
 ・申請年月日 平成11年11月18日
 ・代表者の氏名 宮崎由至
 ・法人の事務所の所在地 四日市市西浦1丁目2番17号
 ・縦覧期間 平成12年1月18日まで
 ・認証の種別 設立
 ・定款に記載された目的 この法人は、広く三重県民に対して、フリーマーケットとした、リサイクルに関する事業を行い、環境問題に関する意識の向上、資源循環型社会の構築を目指し、まちづくりの発展に寄与することを目的とする。

【34】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人四日市こどものまち
 ・申請年月日 平成11年11月24日
 ・代表者の氏名 藤原和彦
 ・法人の事務所の所在地 四日市市松本3丁目9番6号
 ・縦覧期間 平成12年1月24日まで
 ・認証の種別 設立
 ・定款に記載された目的 この法人は、こどものための博物館を通して、こどもたちが遊びながら楽しめる場を提供するとともに、市民に対しての普及啓発活動を推進することにより、こどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

【35】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人新邦楽グループ
 ・申請年月日 平成11年12月1日
 ・代表者の氏名 安田美代子
 ・法人の事務所の所在地 員弁郡北勢町大字其原1951番地の1
 ・縦覧期間 平成12年2月1日まで
 ・認証の種別 設立
 ・定款に記載された目的 この法人は、不特定多数のものに対し、新しい技法による邦楽の普及のための演奏活動等を通じ、邦楽文化の高揚、社会福祉の増進、社会教育の推進ならびに国際交流の促進に関する事業を行ない、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【36】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人日本のコメを守る会
 ・申請年月日 平成11年12月3日
 ・代表者の氏名 丸山光代
 ・法人の事務所の所在地 名張市安部田2308番地の1
 ・縦覧期間 平成12年2月3日まで
 ・認証の種別 設立
 ・定款に記載された目的 この法人は、都市勤労者を中心としたボランティアを組織して農作業を支援する事業を行うことにより、生産者・消費者の相互理解と健康及び食糧に対する意識を高め、もって環境保全と農産物の国内自給率を高めることを目的とする。

(平成11年11月18日～平成11年12月17日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

【17】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人シルバーサービス憩いの汀

・認証年月日 平成11年10月28日
 ・代表者の氏名 西口和代
 ・法人の事務所の所在地 津市海岸町14番20号
 ・定款に記載された目的 この法人は、介護を必要とする人々が住み慣れた街の住居で顔なじみの人や風景の中で普通の暮らしができるよう、必要なサービス活動を行うとともに、講演会や学習会を開き、若者も中年の者も共に高齢になって生を高めること、死、共に生きることを考え、福祉の増進に寄与することを目的とする。

・登記年月日

平成11年11月8日

【18】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人地域福祉を支える三重の会
 ・認証年月日 平成11年10月26日
 ・代表者の氏名 道家芳子
 ・法人の事務所の所在地 津市江戸橋2丁目48番地の3
 ・定款に記載された目的 この法人は、なんらかの手助けを希望する人々を対象に助け合いの精神に基づいた福祉サービス活動を受け手と担い手が対等な関係を保ちつつ行い、その活動を軸にし、老いても病んでも最期まで自分らしく安心して暮らしていくことができる地域社会の創設に努め、福祉の向上及び社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

・登記年月日

平成11年11月9日

【19】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆
 ・認証年月日 平成11年10月28日
 ・代表者の氏名 富田延男
 ・法人の事務所の所在地 伊勢市河崎2丁目5番9号
 ・定款に記載された目的 この法人は、歴史ある伊勢河崎の町を愛する人々と共に、伊勢河崎のまちづくりに関する事業を行い、歴史と文化を活かしたまちづくりに寄与することを目的とする。

・登記年月日

平成11年11月12日

【20】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人伊勢こども劇場
 ・認証年月日 平成11年10月28日
 ・代表者の氏名 秋山則子
 ・法人の事務所の所在地 伊勢市宮後2丁目2番地10号菱田ビル
 ・定款に記載された目的 この法人は、すべての子ども達が、自分に誇りと自信を持ち、自ら考え責任を持って行動できるようになるため、鑑賞活動、表現活動や集団活動に関する事業を行い、もって子どもの豊かな成長に寄与することを目的とする。

・登記年月日

平成11年11月12日
(平成11年12月17日現在)

三重県市民活動センター運営委員会からのお知らせ

三重県市民活動センターが平成13年4月、津駅前北部に建設中のビルに移転することがほぼ決定しました。そこで運営委員会としてはこの機会に、現在の市民活動センターに何が不足していて整備する必要があるのか、みなさんから広くご意見を募集します。

1月10日(月)までに、Fax、またはNPO室のホームページの電子会議室に、みなさんのご意見をお寄せください。

三重県市民活動センター運営委員会次回開催のお知らせ

三重県市民活動センター運営委員会は、市民活動に興味を持っている市民が集まってできた組織です。ワイワイガヤガヤみんなで集まっ

ていろいろなことをしています。どなたでも参加できますのでお気軽にお訪ねください。

●とき／1月13日(木) PM7:00～PM9:00

●ところ／三重県市民活動センター

・・・ **以上2件の申込・問い合わせ先は**

三重県生活課NPO室

514-0004

三重県津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階

Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072

E-mail open@mienpo.net

ホームページ <http://www.mienpo.net/>

1月～2月に開催される

市民活動に関する 講演会やイベントです

津の歴史を描いた「津漫画」 発売記念 原画展&講演会

『津漫画原画展』

●とき／1月7日(金)～9日(日)

●ところ／三重画廊

●入場料／無料

『講演会「お市の方は津で暮らしていた」』

●とき／1月16日(日) PM1:30～PM4:00

●ところ／津リージョンプラザ3階 お城ホール

●入場料／無料

●内容／津の歴史を描いた漫画で町の活性化をはかろうと考え、「津漫画」を製作しました。1997年に発行した「つまが」に続く第2弾です。津市在住の郷土史研究家鈴木林(しげる)さんの原作をもとに、上野市在住の漫画家永井芳司(よしつぐ)さんの手によって漫画化しました。織田信長の妹お市の方、その娘茶々姫らが津で暮らしていたというエピソードです。戦国時代の津の城下を舞台に、壮絶な戦闘シーンあり、ラブロマンスありと楽しめる内容になっています。定価は1500円。津市内の書店を中心に販売しています。今回はその発売を記念し永井さんの原画展と、鈴木さんによる講演会を行います。

●問い合わせ先／津市民フォーラム(代表世話人豊田耕司)

Tel.059-222-7411



松阪自然の学校「野鳥の楽園を見に行こう」

●とき／1月10日(祝) AM10:00～正午(雨天中止)

●ところ／勤労者総合福祉センター駐車場集合(松阪市上川町)

●参加費／会員100円 会員外200円

●内容／木々が葉を落とし、シベリアから野鳥が越冬に来る冬はバードウォッチングに最適の時期です。松阪でも最大の鳥たちの楽園を訪ねましょう。初心者でも大丈夫です。

●持ち物／防寒具、あれば双眼鏡。

●申込・問い合わせ先／

山田 Tel.&Fax.0598-26-8270

かねこ米店 Tel.0598-21-2602



清水きよしの

親子で楽しむパントマイムの世界 —四季の流れ 子供のいる風景—

●とき／1月15日(土) 開演PM6:30

●ところ／上野市ゆめぼりすセンター2階 大会議室

●入場料／大人(中学生以上)1000円 子供(3才以上小学生まで)500円 親子券(前売のみ大人1名子供1名)1200円

●内容／「風を感じる、ゆったりとめぐる、四季の中、子供達が駆けめぐる」。何もない舞台が千変万化!

上野善巳さんのフルートの調べにのせて観る人の心に暖かく静かに広がるファンタジックな世界。作・演出・出演は日本人のマイミストとして独自性、可能性を追い求める清水きよしさん。彼のマイムは漫画家の美内すずえさんも絶賛しています。

●問い合わせ／まちづくりセンター Tel.0595-24-7612

マイムファンタジア実行委員会 Tel.0595-23-0912

●主催／マイムファンタジア実行委員会

●後援／上野市文化都市協会

～阪神・淡路大震災から5年～

地震を考える集い

●とき／1月12日(水) PM2:00～PM4:00

●ところ／三重県市民活動センター

●参加費／無料

●内容／大地震が発生したらあなたはどうしますか。地震への備えや発生後の対応などについて、防災ボランティアや行政の方々をお迎えして話し合いたいと思います。当日は、台湾大地震の報告や地震防災読本(3日間を生きのびるために)の紹介などを予定しています。

●申込・問い合わせ先／514-0004 三重県津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階 三重県NPO室

Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072

●主催／三重県NPO室、消防防災課

総合環境学習ゾーン・モデル事業
東海ゾーンネットワーク推進事業

リーダー養成研修会

●とき／1月22日(土) AM10:00～PM5:00

●ところ／三重県環境学習情報センター研修室

●参加費／無料

●内容／「環境問題と自分との関係を知ろう」をテーマにリーダー養

成研修ワークショップを行います。5人程度のグループに分かれて全員が参加しながら話し合い、意見を整理していくなかで体験的に知識やノウハウを吸収できることでしょう。講師はしろうま自然の会の事務局長であり、インタープリターである今井信五さんです。

【プログラム】

午前

身近な環境問題と自身の関係を整理してみよう

スライド・プレゼンテーションによる「地球規模の問題」

昼食

ランチタイムワーク

午後

地球環境の問題と自身の関係を整理する

～まとめ「何ができるのか？」

●募集人数／30人

(東海ゾーン拠点担当者および環境学習に取り組むNPO)

●応募締切／1月17日(但し、定員になり次第締切)

●申込・問い合わせ先／512-1211 四日市市桜町3690-1 三重県環境学習センター Tel.0593-29-2000 Fax.0593-29-2909

社会福祉事業団、医療事業団「子育て支援基金助成事業」
奥地圭子講演会(東京シュレー主宰)

『子どもが生きる・子どもと生きる』

—不登校20年の歩みから—

●とき／1月22日(土)開場PM1:00 講演PM1:30～3:30

質疑PM3:30～PM4:00

●ところ／三重県女性センター

●内容／「登校拒否は病気じゃない」、「学校は必要か～子どもの育つ場を求めて～」などの著者であり、東京シュレーの主宰者でもある奥地圭子さんの講演会です。PM4:15からは中高生を対象にした交流会もあります。

●申込方法／特別会員券が必要です。下記まで問い合わせを。

●申込・問い合わせ先／津市島崎町132-40 津子どもNPOセンター Tel.&Fax.059-225-1404

～自分のまちを見つめ直し、まちづくりに参加しませんか!!～

まちづくり講演会

「住民さんかく・まる・しかく」



●とき／1月23日(日)開場PM1:00 PM1:30～4:10

●ところ／鈴鹿市文化会館 けやきホール(鈴鹿市飯野寺家町)

●参加費／無料

●内容／住民・市町村・県の協働でまちづくりを進めるため、まちづくり講演会を開催します。テーマである「住民さんかく・まる・しかく」の意味は「さんかく」が参画、参加。「まる」は、周りとして、身の回り・自分のまち。「しかく」は、視覚ということで、みつめる・見つめ直すということ。つまり、「自分のまちを見つめ直し、まちづくりに参加しませんか!!」という呼びかけです。

【プログラム】

第1部 ▲くの講演会(参画の講演会)

まちづくり幻燈会「こんな町に住みたいナ」(60分)

延藤安弘さん(千葉大学工学部教授)

第2部 ■い紙芝居(四角い紙芝居)

ジャンボ紙芝居「鼓ヶ浦物語」(20分) 鈴鹿不断桜グループ

第3部 ●満な漫談(円満な漫談)

まちづくり漫談(60分) 延藤安弘さん VS 南部美智代さん

●募集人数／500人

●問い合わせ先／三重県まちづくり推進課(廣田・鈴木)

Tel.059-224-2747

●主催／三重県 ●共催／鈴鹿市

第8回NPOひろば学習会

「NPOの収益事業

～市民による“起業”を考えるパートⅡ」

●とき／1月29日(土)受付PM1:00 開始PM1:30～PM3:30

●ところ／なや学習センター3階音楽室

●参加費／会員500円 非会員1000円

(当日、会員になれば500円で参加できるほか、今年度中の学習会すべて会員価格で参加できます。会費は2000円です)

●内容／今回の学習会は参加者からもう一度開催して欲しいという要望の強かった「NPOの収益事業～市民による“起業”を考えるパートⅡ」です。市民活動を行ううえで資金の管理の問題は重要です。参加者の質問をもとに公認会計士である(株)ブレインパートナーの酒谷宜幸さんにNPOにおける会計の効果などを語ってもらいます。なお、質問については事前に受付です。1月20日までに郵送もしくはFaxでお寄せください。団体紹介、イベント情報を参加者に配布したい場合も事前に下記までお願いします。また、学習会終了後に市民活動センターにて交流会を行います。時間に余裕のある人はふるって参加してください。

●申込・問い合わせ先／510-0045 四日市市蔵町4-17 市民活動センター内 四日市NPOひろば Tel.0593-50-0201

Fax.0593-50-0203

こどもの心の発達相談会

●とき／1月30日(日)PM1:00～

●ところ／NHK津放送局 会議室

●参加費／無料

●内容／「ことばが遅れている」、「はっきりしゃべれない」、「なめらかに話せない」など、



あるいは知的な面や行動面などの発達に問題をもつ子どもさんの家庭での教育や就学の問題について専門家のアドバイスを受けることができます。

【講師】

栗原輝雄さん(三重大学教育学部教授)

小西真行さん(三重県立小児診療センターあすなろ学園診療科医長)

田畑しおりさん(国立療養所三重病院小児科医師)

松下淑さん(皇學館大学社会福祉学部教授)

●応募締切／1月21日(金)

●申込方法／電話またはハガキにて、住所、氏名、電話番号、子どもの名前、年齢、性別をお知らせください。

●申込・問い合わせ先／514-8531 津市丸之内養正町4-8 NHK津放送局『発達相談会』係 Tel.059-229-3012

Fax.059-229-3019

461-8725 (住所不要) NHK厚生文化事業団中部支局

Tel.&Fax.052-952-7150

みんなで考えよう

環境問題

お話と体験ワーク

- とき／1月30日(日)AM10:00～PM3:00
- ところ／高田青少年会館(津市一身田) ●参加費／昼食代600円
- 内容／福祉と環境問題を切り離して考えることはできません。今回の企画では三重大学教授の東廉(あずまれん)さんの講演と、活動グループによる体験発表・体験ワークを行います。環境問題に関心のある人なら誰でも参加できますのでお気軽に参加してください。なお、体験発表(パネル、資料配付、製品展示など)・体験ワークグループ(廃油石けん、洗剤、シャンプー、アクリルたわし、PPバンド品、紙すきハガキ、牛乳パック製品、マイパックなど。当日販売も可)も募集しています。

【プログラム】

AM9:30受付 AM10:00開始

AM10:15～正午 講演 東廉さん(三重大学人文学部教授)
「ドイツのゴミ政策から考える日本のゴミ問題などについて」

正午～PM12:45 昼食・交流

PM12:45～PM3:00 体験発表・体験ワーク

- 応募締切／1月15日(土)
- 申込方法／電話またはFaxで氏名、電話番号、昼食の要・不要、参加のみ、発表参加などを申し込んでください。体験発表、ワークへの参加はグループ名と内容をFaxで連絡してください。
- 申込・問い合わせ先／村岡 Tel.0595-24-0121
高瀬 Fax.0598-21-4092
井上 Tel.0593-87-5762 Fax.0593-86-5087
- 主催／三重県ボランティア連絡協議会

上映会 続『住民が選択した町の福祉』

- とき／1月30日(日)(1)開場PM1:30 PM2:00～PM4:05
(2)開場PM6:00 PM6:30～PM8:35
- ところ／鈴鹿市ふれあいホール
- 参加費／前売券1000円 当日券1300円
- 内容／秋田県鷹巣町を舞台に、福祉を公約に掲げて当選した若き町長、岩川徹さんが住民に参加を呼びかけてつくったワーキンググループの活動に支えられ、「本当の住民参加」による福祉の町づくりを始めた様子を記録したのがドキュメンタリー映画、「住民が選択した町の福祉」です。今回は鷹巣町のその後を追った続編を上映します。
- 問い合わせ先／澤内 Tel.0593-86-4915
- 主催／すずかぜ
- 後援／鈴鹿市、鈴鹿市社会福祉協議会

貧しさのために売られて行く 少数民族の少女に救援の手を!

タイ少数民族少女応援キャンペーン フリーマーケット&物品提供のお願い

『フリーマーケット』

- とき／2月6日(日)AM10:00～PM3:00
- ところ／四日市市勤労者総合福祉センター
- 内容／貧しさから親や兄弟の生活を守るために、身を守る以外に方法を見いだせないでいる少女たちの経済的自立と就学促進プロジェクトを応援するためにフリーマーケットを開催するとともに、様々な物品を送ります。また、この事業に関わることで高校生や参加者が

途上国の子どもたちが置かれている厳しい環境を理解する機会にしたいと考えています。

【プログラム】

フリーマーケット&パフォーマンス(演奏と演技)、タイ北部メーサイの少女支援センターで製作された民芸作品の展示即売、リサイクル日用雑貨およびユニセフカード・グッズ販売、メーサイの少女支援センターの活動紹介。

●問い合わせ先／三重県社会福祉協議会ボランティアセンター(杉谷哲也) Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618

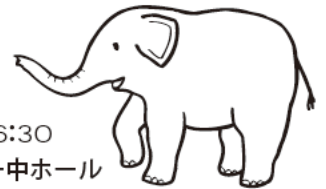
●主催／三重県高校生ボランティアネットワーク、四日市7ライオンズクラブ協議会

『物品提供のお願い』

●内容／日用雑貨品(タオル、石けん、食器など)、缶詰などの保存食品、新品の衣類、装飾品、電気器具、未使用・使用済みテレカなどのカード、使用済み切手、おもちゃ、絵本、新品の文房具類、スポーツ用品、贈答品、中古CDなど。生もの以外はなんでも結構です。

●送り先／510-0026 四日市市高浜町10-21 清水運輸KK
Tel.0593-31-8271

いま、表現



- とき／2月6日(日)
開場PM6:00 開演PM6:30
- ところ／三重県総合文化センター中ホール
- 特別会員券／大人1,500円 高校生まで500円
- 内容／表現と合唱構成の2部構成です。
- 【第1部／表現…子どもの権利条約】
子どもをひとりの人間として大切に考える「子どもの権利条約」の精神を、中高生15人がワークショップを重ね、文学座の高瀬久男氏の指導のもと、詩、歌、朗読、アートによって表現しました。子どもたちが、社会の一員として自分の目で見た社会や大人について……。表現に乗せて楽しく伝えるメッセージからどんな想いが伝わるのでしょうか?
- 【第2部／合唱構成…ぞうれっしゃがやってきた】
第2次世界大戦中、日本各地の動物園で「爆撃によって逃げ出しては危険」という理由で動物たちが次々と殺されていきました。そんななか東山動物園では、北王園長さんが先頭にたち象たちを必死で守りぬいたのです。そして戦争が終わったあと、生きのびた2頭のぞうを見たいという子どもたちの夢をのせた特別仕立ての「ぞうれっしゃ」が全国各地から名古屋へと走ったという歴史上の出来事を題材にした合唱構成です。子どもたちが仲間と一緒に「平和」の大切さ、生きることのすばらしさを知り、考え、感じ、歌うことを通してどのように伝えるかという事をテーマにつくりあげました。
- 問い合わせ先／津市島崎町132-40 津子どもNPOセンター
Tel.&Fax. 059-225-1404
- 主催／特定非営利活動法人 津子どもNPOセンター
- 共催／三重タイムズ社
- 後援／津市教育委員会、津市子ども会育成者連絡協議会

超高齢社会・男女共同参画社会へのギアチェンジ

中山千夏と岩川徹トーク

- とき／2月19日(土)PM6:30～PM8:45
- ところ／四日市市文化会館第2ホール
- 入場料／1000円
- 内容／21世紀間近。いのち・くらし・男と女はどうなるんだろう。作家、中山千夏さんとドキュメンタリー映画「住民が選択した町の福祉」

の舞台となった秋田県鷹巣町町長、岩川徹さんが語ります。手話、託児が必要な方は申し込んでください。

●問い合わせ先／桑名(中村) Tel.0594-31-8978 四日市(飯田) Tel.0593-52-2611 鈴鹿(澤内) Tel.0593-86-4915

●主催／くわなウイン、高齢社会をよくする女性の会よっかいちグループ、すずかぜ

ネットワーク のよびかけ

「NPO&行政プロポーズ大作戦」企画 スタッフ(ボランティア)募集

9月30日、10月14日に行われた「みえNPOパートナーシップフォーラム」のワークショップ(「NPOと行政の協働を考える」)では、NPOと行政の知り合う場が必要ではないかとの課題が出されました。

そこで、NPOと行政が知り合うための「お見合いの場」を提供しようというプロジェクト、名付けて「NPO&行政プロポーズ大作戦」を現在企画しています。

企画に加わっていただける方を募集していますので、関心のある方はご連絡ください。また、第1回企画スタッフ会議を次のとおり開催します。ぜひご参加ください。

●とき／1月11日(火) PM7:00~PM9:00

●ところ／三重県市民活動センター

●問い合わせ先／514-0004 三重県津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター内 NPO&行政プロポーズ大作戦事務局

Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072

助成金 ニュース

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。そのホームページには多くの助成金情報が集まっていますのでご紹介します。

<http://www.jfc.or.jp/>

(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化保存維持費用助成

●受付締切／1月31日(月)消印有効

●助成の目的／古来地域に伝承されてきた民族の遺産とも言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下同じ)・伝統的生活技術(民具制作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)などを正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えにたつて、当財団はこれらの継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要

な技能修得のための諸活動への支援を行います。

●助成の対象となる団体／1、平成12年度(平成13年3月まで)に後継者育成を目的とする諸費用(研修費、発表会場費、道具整備費、製作材料費、記録保存費用など)の支出を予定していること。

2、上記支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。(家元、流派などが確立され、保存維持の見通しが立っていたり、申請した事項につき国・地方公共団体などの公的助成ないしは他財団などからの助成を受けているものは対象外)。また、国指定の重要無形民俗文化財(「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」は除く)、伝統性、地域性の希薄なもの、あるいは助成対象が不特定なもの、研究助成は対象外です。

●助成の対象となる活動／

1、地域の民俗芸能への助成…地域の民俗芸能の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象。

2、地域の伝統的生活技術への助成…地域の伝統的生活技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象とします。

●助成の額／1、地域の民俗芸能への助成については1件につき100万円、2、地域の伝統的生活技術への助成は50万円をそれぞれ限度とし、申込内容を検討のうえ、具体的な助成金額を決定。

●応募方法／所定の用紙を下記まで申請。申込書、推薦書など提出書類をできる限り簡易書留便にて送付。

●問い合わせ先／(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団
160-0023 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第二ビル
Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388

日本生命財団 児童・少年の健全育成助成

●受付締切／1月中旬

●助成の目的／子どもたち自身が主人公になり、仲間づくりや文化の伝承活動、自然体験活動、ボランティア活動などを行うことによって、“子ども文化”を創造していくことを目指し、全国都道府県知事の推薦に基づき助成します。

●助成内容／子どもたちが仲間づくり、子ども文化づくりなどに取り組む民間の団体、グループへ活動に必要な物品を助成します。

●助成の対象となる団体／子どもたちが、地域の人々の協力の下に、主体的に仲間づくり、子ども文化づくりなどを実践している民間の団体・グループとします。

1、活動資金の収入源が会費のみ、もしくは僅少の補助金で運営されている団体。

2、上部組織に従属したものとしてではなく、自主性を確保し、運営されている団体。

3、助成による購入した物品を直接、継続的に活用し、管理しうる団体。

4、20人以上単位規模の団体。

●助成の対象となる活動／子どもたち自身が定期的、日常的に継続して行っている次のような活動。

1、異年齢集団の中で、豊かで多彩な体験の機会が得られる活動。

2、自然の中で、自然と親しみ、楽しく遊び、学ぶ活動。

3、地域の人々とふれあい、体験学習をする活動。

4、日本の文化、芸術、生活様式を学び、継承していく活動。

5、子ども文化を創り出し、継承していく活動。

●助成の額／原則として1団体につき50万円以上150万円以内。

●応募方法／所定の書類を各市町村の担当課へ提出。

●問い合わせ先／各市町村の担当課

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。尾鷲市の竹平和弘さんを紹介してくれたのは伊勢市の濱田典保さんです。濱田さんは青年会議所で活躍されるほか、伊勢志摩NPOネットワークなど市民活動にも積極的です。

協議会会長として各地の活動をサポート

……濱田さんは今年、伊勢青年会議所（以下JCと表記）の理事長、来年は日本JC東海地区三重ブロック協議会の会長をされるそうですね。そもそもJCの活動とはどんなものですか？「明るい豊かな社会」をつくろうと、戦後すぐに東京でスタートしたJCは市民活動の老舗の部類に入ります。JCは単年度制といって1年ごとにトップもスタッフも変わります。だからこそ時代にあわせたタイムリーなテーマを取り入れられる。それが特徴の団体ですね。

……三重ブロック協議会とはどんなことをするのですか？三重県には14のJCがあり、それぞれの活動単位をLOMと呼んでいます。活動の主演は14のLOM。協議会の仕事は情報交換をしたり、ネットワークをつくることで各LOMの手伝いをする。例えば市民活動団体の方と関係をつくり橋渡しをするなどですね。

……来年の三重ブロック協議会のテーマは？メンバーのほとんどが中小企業の経営者であるJCは、社会的な不況という時代の転換期に直面しています。そのなかで、これからの地域の企業、地域経済がどうあるべきか、というテーマが一つあります。それと平行して市民レベルでもNPOなどの動きがあり、行政からの指示ではなく、私たち自身がまちづくりのためにどんな活動をしなくてはいけないか考えなくてはなりません。それが来年の2本柱です。

……具体的にはどんな活動をするのですか？例えば県内のNPOや勉強の場に押し掛けて、「どんな思いで市民活動されているか」とか、「どういう方向に行くのか」ということを勉強させてもらう「押しかけ勉強会」というのを検討しています。JCの活動ではあるんですけど、一個人のレベルで入っていきたいと思います。服装もネクタイ、バッジは不可とってます。

次期（社）日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会会長



濱田典保 さんに **聞く**

……いろいろな構想があるんですね。理事長や協議会会長するにあたって勉強させてもらった受け回りの部分が多いんです（笑）。でもこれがJCのいいところ。勉強しなくちゃいけない環境に置かれるから勉強するんであって、僕が企業人という立場だけだったとしたら、ここまで関わることも、勉強する気にもなれなかったでしょう。JCは形にこだわると言われますが、ある意味

それも必要だと僕は思います。まず役職があって、そこに自分を合わせていく。役が人をつくるというのは絶対ありますから。

……協議会会長になる日が近づいてますがお気持ちは？来年からですが、いろんな地域の生の声が聞けますし、そういう人たちと一緒にやれるのは楽しみ。友だちも増えますね。

「思いやりの心」を演劇・映画で伝える

……これまでの活動で印象的なものは？JCの活動というとイベント型の一過性のものが多かったんですが、最近は少し変わってきました。例えば伊勢JCでは子どもたちと演劇や映画をつくらせています。まず、去年の8月に「思いやりの心」をテーマにした劇をしました。今の時代、子どもたちがキレたり、子ども同士のコミュニケーションもおかしい。大人もそれをうまく伝えられないなかで、大切なのは思いやりだということをやりたいと思いました。昔なら、偉い先生の講演会をしたでしょうが、そうではなくて子どもたちの言葉で言ってもらおうじゃないかと考えたのが始まりです。出演する子どもたちは公募しました。当日は僕らも音声や照明をしましたが、基本的に演劇の素人ですから劇丸という若い女の子だけの劇団と伊勢青年劇場に演出・脚本を協力してもらいました。

……前からつながりはあったんですか？ほとんどなかったです。青年劇場は定期公演と重なるために全面協力ではありませんでしたが、座長の佐藤さんが来てくれました。劇丸には舞台稽古から発声練習まで全てしてもらいました。

……演劇の内容は？シナリオは劇丸のアイデアをいろいろもらったんで、女の子の感覚なんです。若い子の想って意外に純粋ですね。大人が象徴的に描かれている設定自体ピュア。親から見放されて、お金のためにいろんなことをしている子どもたちのなかに一人の少年が入ってきて、互いに信頼し、助け合う気持ちが芽生えてくるという筋立てです。

……子どもや劇団と一緒にやる事業。関係はどうでしたか？僕らのテーマはよく話しましたし、わかってくれたと思います。子どもは大人とまったく違う視点を持っています。意外にしっかりしていて、言うことははっきり言います。子どもたちと劇丸の子にしても最初は子どもたちが話を聞いていないと劇団の子がバーンと怒ったり、正直に言えばすったもんだあったんです。それがやっているうちに教える側と教わる側の信頼関係が僕らから見るとできていって、最後にはすごくいい関係になりましたね。一緒にやっていて楽しかったですよ。

……JCにしてみれば教えられた部分もあるのでは？怒られました（笑）。JCは会議をして筋を決めますが、それが現場感覚の彼女たちになるとまどろっこしい。劇は生き物だから、稽古しながらその場で変わるんです。それがまための射た話ですから、任せるところは任せると、僕らも鷹揚にやりました。このやり方をフィードバックして、大きくではないですがJCも変わったと思います。

……映画はどうやってつくったんですか？課外授業みたいな形で「一緒に映画をつくりましょう」と学校にお願

いしました。テーマは人を思いやる心を発揮するためのちっちゃな勇氣。演劇の反省会で「思いやりの心」ってみんなにあるのに、それが世の中に出てこないのはなぜ?という話になったんです。最初は僕らがシナリオを書く予定でしたが、去年経験したみたいに僕らだけの観点じゃいかんとな変わっていききました。それで1本は僕らが、残り2本は「あなたの思う小さな勇氣って何ですか?」という題で書いてもらった子どもたちの作文をシナリオに起こして3部構成にしました。

……映画をつくったことのある人はいるんですか?

プロはいませんがJCは異能者集団でして、カメラややっている人とかいるんです。美大で映像をやっていたとか、舞台美術をやっていた人もいまして、そんなメンバーが中心になりました。あと、伊勢のビデオサークルや皇学館大学の映画研究会にも協力してもらいました。

……津の方まで情報が伝わってこないのが残念です。

結構やったつもりなんです。最近はホームページもつくって、情報を流しているし、新聞にも伊勢志摩版ですが載りました。ただ、あちこちのJCに声をかけた時も、言われるまで知らなかったということは多かったです。そういう意味では新聞やケーブルテレビなどメディアに取り上げられないと発信しても伝わらないんでしょね。

JCは40歳で卒業。その時にJCで出会った世界や問題、培ったノウハウをどういう風に個人の行動に移していくのが大切なんじゃないかな。

……子どもたちとの活動が続きましたが、今後は?

伊勢の話ではないんですが、来年の三重ブロックのテーマに「地域の先生」というのがあります。昔なら近所にうるさいおじさんがいてボールを投げ込んでしまつとどやされてなかなか返してくれない。それがいい悪いは別にして、地域のなかで子どもといろんな関わり合いがありました。ところが最近子どもが接する大人というと親と先生、塾の先生ぐらい。だからもっと地域が子どもに対して関わりを持っていくことが必要だと、全国のJCでも考えているんです。

個性や違いを理解しゆるやかなネットワークを

……協議会のテーマでも取り上げていますが、市民活動としての関わりで特徴的なものは?

去年の12月にNPO法が施行され、NPOをめぐる環境がこの1、2年でめまぐるしく変わっています。僕らもかなり早くから市民活動に着目して、他のまちづくりグループともコミュニケーションを取りながらNPOの方向性を研究してきました。NPOグループと話をする機会もこの1年でずいぶんあり、いろいろ勉強させてもらっています。……NPO団体とのつきあいで気づいたことは?

NPOはテーマが絞られていて専門的。それに比べるとJCは器用貧乏というか問題に切り込めていない。それでいいのか、変わらなくてはいけないのか考えるのは僕らの課題だと思っているんですよ。

……一緒に活動する他のグループから意見されることは?

JCは単年度制ですから、当然テーマが違えば活動も変わる。するとそれまで一緒に活動をしていた人に「JCはたった1年で終わりか」と言われるんです。ただ僕はそれも個性だと思うんです。世間にアンテ



今年つくった映画の撮影風景です。

ナを張り巡らせていち早くテーマを変えていく。例えば子どものみこしをやって、子どもたちのコミュニティがある程度できたら違う方向へ行こうと。それができるのはJCだけじゃないかって思うんですよ。……活動や主旨が外からは見えにくいことも誤解を招いているかもしれませんね。

毎月理事会をしていて、時には明け方になることもあります。僕らなりに考えてやっているんですが、なかなかオープンにできていないからわかってもらえない部分もある。僕ら自身も責任を持って、どんな主旨でこの事業はやっていくのか説明しなくてはいけないですね。

……JCとして他の団体に提案することは?

JCのメンバーはみんな経営者。経営や組織論、財務などには長けています。NPOも今は税制面の優遇とかありませんが、今後は企業からの寄付を受け入れたり、職員を雇うことにもなるでしょう。その時にJCのメンバーが力になれると思います。JCが中心になった伊勢まちづくりネットという組織ができたんですが、活動内容は未知数。NPOにとって何かプラスになることをしていきたいですね。

……専門分野を持たないからこそ、JCが地域のNPOやボランティアグループを繋ぐ役割ができるとは思いませんか?

JCが接着剤の役割をするのはいいのですが、NPOにはそれぞれの考え方がありますから、無理にやっても難しいでしょう。

……どういうネットワークが理想ですか?

JCに単年度制という個性があるようにNPO団体もそれぞれ。その違いを理解することがまず必要。そのうえでのネットワーク。離合集散というのかな。無理に一つにするのでなく、手を挙げれば誰かが見ている、参加は自由。そういうゆるやかなネットワークがいいんじゃないかな。大きな枠のなかで連絡が取れるのが一番理想ですね。

……仕事もしてJCも。大変では?

正直いって、最初は大変でしたね。JCをしようと思ったら時間もお金も使って、仕事に穴も開けて…。でもね、最近JCは入り口だと思うんですよ。JCは40歳で卒業ですが、その世代はまだまだエネルギーがある。その時にJCで出会った世界や問題、培ったノウハウをどういう風に個人の行動に移していくのが大切なんじゃないかな。

(社)日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会
住所/伊勢市岩淵1-7-17 伊勢商工会議所4階
Tel.0596-28-9687 Fax.0596-25-9700

濱田典保さんはこの人を紹介します。

三谷博隆(みたにひろたか)さん。

自然観察指導員の資格を持ち、松阪自然探究会の代表として自然観察会を主催。松阪シティネットの会長としても活躍中です。



映画のワンシーンから。

編集後記

市民活動ニュース1号を発行したのは昨年の12月。無事、1周年を迎えることができました。これからもみなさんに「使ってもらえる」「楽しんでもらえる」誌面にしていきたいと思っています。ご意見や情報などありましたら気軽にお寄せください。

【訂正】先月号で紹介した特定非営利活動法人チャンパーグループの電話番号が間違っていました。正しくは「Tel.0593-91-6010」です。